

## 12月からタブレット導入

議会での審議に、タブレット端末がいよいよ12月議会から試験的に導入されます。

各議員にはすでに9月に端末が配布され、これまでそれぞれに使い方を学んできました。17日には、実際にタブレットを使った模擬議員会を開催し、タブレットの画面で行政からの資料を確認したり参考資料を参照したりしながら発言する研修を行ないました。

この模擬委員会では、実際の運用に際しての課題も明らかになりました。例えば、行政からの資料の名称を分かりやすく統一しなくてはならないこと、議論の対象になっている資料の参照をスムーズに行える工夫が必要であることなどです。しかし、それ以上の課題は、各議員のスキルにかなりの差があることのようにです。

本来は、必要な情報を迅速に共有し、審議の場面でも瞬時にあらゆる情報にアクセスできるようにして、発言に深みを加えられるようにすることが目的ですが、逆に審議対象の資料に到達できない人も出るなど、前途はなかなか多難のようです。



真剣に端末画面を見つめる各議員  
(17日の模擬委員会にて)

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 570 2017年11月26日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
先上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

# 利便性向上めざし 運動継続を確認

## 「在来線の存続、地域の振興・発展を めざす地域の会連絡会」が定期総会

信越線や北陸線などの在来線鉄道を守り、地域の発展をめざす運動を繰り広げてきた「在来線の存続、地域の振興・発展をめざす地域の会連絡会」(仲田紀夫代表)が、18日、市内で定期総会を行ないました。

冒頭、仲田代表が挨拶に立ち、今年3月のダイヤ改正に触れ、乗り継ぎなど一定の改善があったものの、糸魚川・新潟間の直通列車が廃止されたことなど、市民の願いにそむく動きがあったことを指摘しました。続いて村山市長代理の黒木企画政策部長が、来賓として「運動継続に敬意を表する」と挨拶しました。

討議では、ほくほく線列車へのトイレ設置など、利用者本位のサービス充実をはじめとした諸課題の解決に向け、各鉄道会社・自治体等に要請行動を行うことなど、今後とも利便性の向上をめざす運動を繰り広げていくことを確認しました。



挨拶する仲田代表

## 2016年12月議会審議日程

	曜	会議	場所	備考
12月1日	金	本会議	議場	議案提案・総括質疑
12月4日	月	厚生委員会	第一委員会室	付託案件の審査 平良木議員担当
12月5日	火	建設企業委員会	第一委員会室	付託案件の審査 橋本議員担当
12月6日	水	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件の審査 上野議員担当
12月7日	木	総務委員会	第一委員会室	付託案件の審査 橋爪議員担当
12月8日	金	一般質問	議場	各議員の質問日は 追ってご案内 いたします
12月11日	月	一般質問	議場	
12月12日	火	一般質問	議場	
12月13日	水	一般質問	議場	
12月15日	金	本会議	議場	議案採決など

# 10月末までに23.4%の産廃を処理 三和区宮崎新田の放置産廃

悪質な業者によって大量の産業廃棄物が放置されている三和区宮崎新田では、推定1万トンを超える放置産廃の分別・撤去作業が急ピッチで進められています。現在の作業の進捗状況を確認する現地説明会が18日に行われ、日本共産党議員団からは橋本正幸議員と平良木議員が参加しました。

9月から本格化した撤去作業は、10月にはピッチが上がっており、これまでに推定総量の4分の1近くに於ける約2600トンが搬出されました。今年末まで作業を続け、今年中に約4300トンの産廃を処理したいとのこと。作業は、まずパワーショベルで掘り出し、大きなものを取り除いた後、回転式の籠状の選別機を備えた特殊重機で汚泥とそれ以外のものに分別します。さらに汚泥以外のものを手作業で仕分け、木くず・コンクリートがら、金属片、自然石などに分別するという手順とすることです。



回転式の分別機を備えた特殊重機



地域みなさんとともに現地を視察

廃を処理したいとのこと。作業は、まずパワーショベルで掘り出し、大きなものを取り除いた後、回転式の籠状の選別機を備えた特殊重機で汚泥とそれ以外のものに分別します。さらに汚泥以外のものを手作業で仕分け、木くず・コンクリートがら、金属などは市内の業者によって再資源化させたいとのことです。山県の最終処分場に運搬して埋め立てています。木くずやコンクリートがら、金属などは市内の業者によって再資源化させたいとのことです。冬期間は作業を休み、来年5月に再開することですが、積雪の状況によっては作業開始を繰り上げるとのことです。